

1-IV 栄養状態の改善

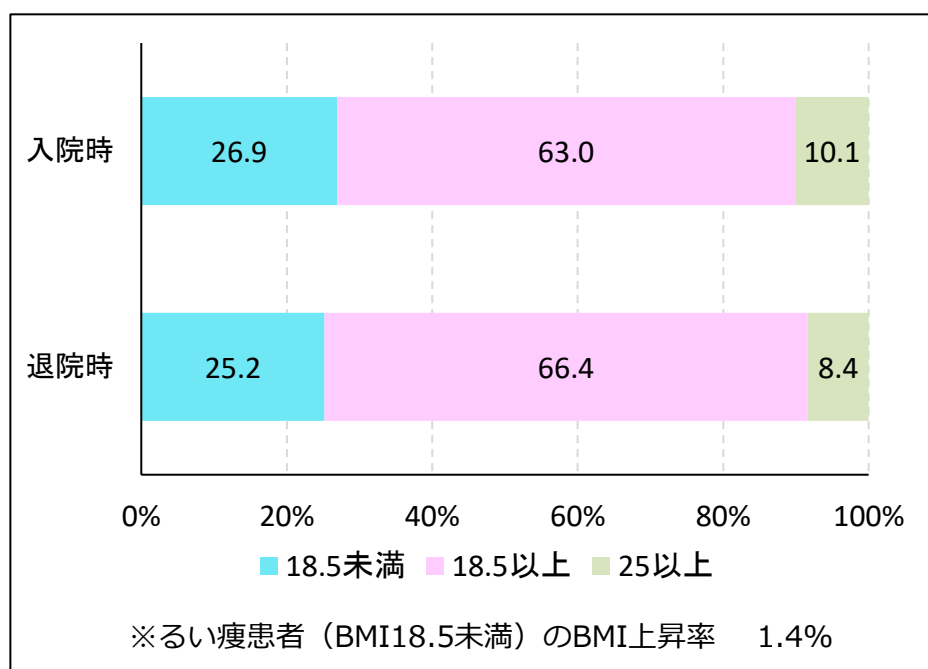
※回復期リハビリテーション病棟協会が2025年2月に発表した「回復期リハビリテーション病棟の現状と課題に関する調査報告書」内の全国平均値を、一部、当院の実績と比較しています。

①BMIの変化 (n=119)

BMI（Body Mass Index：体格指数）が18.5kg/m²未満の痩（=やせ）の方の割合は、入院時26.9%から退院時25.2%に減少しました。

全国平均ではBMI18.5未満の方が22.9%から25.0%に増加しています。

BMIが25kg/m²以上の肥満の方の割合は、入院時10.1%から退院時8.4%に減少しました。



②入院患者の食事形態の割合 (n=119)

当院の食事形態は、常食は食形態の制限なし、軟菜食は常食より硬い食材を除いた食事、ソフト食は舌と上顎で潰せる固さの食事、嚥下食3はペースト状と弱い力で潰せる固形食が含まれる食事、嚥下食2はペースト状の食事としています。

食事形態の詳細として、ソフト食・嚥下食3・嚥下食2のカッコ内に日本摂食嚥下学会より発表されている嚥下調整食学会分類コード2021のコード分類を併記しました。

